

平成 22 年 5 月 28 日

保護者の皆様へ

子どもたちの確かな学力の育成や学習の習慣化のために『家庭学習の手引き』を作成いたしました。子どもたちが生涯にわたり学習していくための基盤を培いたい。これが私たちの大きな願いです。子どもたちの学力向上のためにこの手引きが活用されることを願います。

## 家庭学習の手引き（保護者用）

水戸市立上大野小学校

### 1 学習（学校での学習，家庭学習）の目的

上級学年や中学校での学習につなげるための準備及び将来より豊かな生活を子どもが送ることができるようにするための投資と考えます。学力の要素は次の三つです。

基礎的な知識・技能

思考力，判断力，表現力（＝基礎的な知識・技能の活用能力）

学習意欲（＝主体的に学習に取り組む態度）

### 2 学校の役割について

学力の三つの要素を習得させ、はぐくみ、養うことが第一の役割です。もう一つは、生活の仕方や人とのつき合い方といった社会性を育てる場所だということです。だから、学校では、児童が好悪の感情で行動すること（例えば「嫌いだからやらない」「したいからする」といった反応）を戒めます。嫌でもやらねばならないことがあることや人に迷惑をかけなければ何でもやっていいのではなく、人に迷惑をかけることは、やってはならない多くの事柄の一つに過ぎないのだ、ということなどを教えます。

### 3 学習への取り組み方チェックリスト

学習や生活を振り返り、自分自身をよりよく成長させるためのリストとして御活用ください。

#### （1）学校での学習について

授業は学習の基本となる最も大切な時間です。授業時間の過ごし方が学力の向上や社会性の発達に大きく影響します。友達と高め合い、幅広い考え方や柔軟な思考を身に付けていく時間が授業です。

忘れ物をしない。  
学習内容を理解しようと努力している。  
授業中は、おしゃべりや手遊びをしない。  
先生の話や友達の発表を集中して聞くことができる。  
できるだけ、発表をするようにしている。  
友達の優れたところを認め、友達から学ぼうとしている。  
漢和辞典や国語辞典、参考図書などをいつも手元において学習している。

#### （2）学習に対する心構えや準備について

基本的な生活習慣を身に付けているかどうか、学習成果と関わっていることは明らかになっています。社会生活を送る上で必要な資質の一つは、自分の意志の力で事態を打開する能力です。

起きる時刻，寝る時刻が決まっている。（早寝・早起き・朝ご飯）  
自分で起きることができる。  
テレビやゲームの時間は決まっている。（1時間30分以内。できるだけ少なく）  
自分のことは、自分でしている。（時間割，学習用具準備等）  
すすんでお手伝いをしている。  
毎日，決まった時間，机に向かって学習している。  
整理・整頓ができています。  
自分の目標に向けて続けてがんばることができている。

#### （3）家庭での学習について

家庭での学習環境を整えておくことも、児童の学力向上にとって重要な要素となります。例えば、読書に関してですが、義務教育期間（小学校，中学校）では基礎的教養を身に付けさせるための読書（課題図書，推薦図書，昔から読み継がれている図書等）を行うことを大切にしたいと考えます。市内にある図書館を利用することも一方法です。

基礎的教養が身に付く本を読んでいる。  
 漢和辞典，国語辞典，四字熟語辞典，ことわざ辞典，故事成語辞典，教科用参考書，図鑑，年鑑等をよく使っている。  
 日本地図，世界地図，地図帳，白地図，年表等をよく使っている。  
 新聞に目を通している。  
 ニュースを見て，親子で話し合っている。  
 自然や生物とふれあい，よく観察している。  
 音読をよく行っている。(音読テキストは[学校のホームページ](#)にもあります)  
 歌を歌ったり，写実的な絵を描いたりしている。  
 できるだけ外遊びや運動をして体力を高めている。  
 自分で学習計画を立てることができる。(学年ごとの学習カードを使います)  
 前日のうちに，次の日の学習の用意をする。

#### 4 家庭学習の実際について

家庭学習 = 宿題 + 自主学習

- ・低学年は，宿題をしっかり行い，中学年からは自主学習の割合を増やしていきましょう。

低学年 20 ~ 40分      中学年 40 ~ 60分      高学年 60 ~ 90分

- ・学習時間の目安です。自分で学習時間を決めて，毎日家庭学習に取り組みましょう。

国語	算数	社会，理科など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習やドリル学習</li> <li>・音読や暗唱，視写</li> <li>・漢和辞典や国語辞典</li> <li>・ことわざ，四字熟語</li> <li>・作文，意見文や日記</li> <li>・復習やテストの見直し</li> <li>・読書</li> <li>・漢字検定</li> <li>・市販の問題集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算練習やドリル学習</li> <li>・教科書の問題</li> <li>・百ます計算</li> <li>・復習</li> <li>・テストの見直し</li> <li>・数学検定</li> <li>・市販の問題集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強したことに関係あることを資料などで詳しく調べる。</li> <li>・復習やテストの見直し</li> <li>・都道府県名と位置，山地・山脈，平野・河川などを暗記する。</li> <li>・実験したことをもう一度ノートにまとめる。</li> <li>・教育テレビの活用</li> <li>・市販の問題集</li> </ul>

- ・家庭でできる学習の例です。これら以外にも自分で考えてできるものに挑戦しましょう。
- ・中学生になると予習も大切な家庭学習になります。6年生は予習に挑戦してみましょう。
- ・各種検定については，検定期間が決まっているので自分で調べて挑戦しましょう。
- ・市販の問題集は，最後まで終えることができるように自分に合ったものを選びましょう。
- ・1年先，5年先，10年先を見通して，計画的かつ継続的に学習を進めましょう。

- 1 勉強するときには，テレビや音楽を消す。
- 2 食べながら勉強しない。
- 3 机の上をきれいに片付ける。
- 4 机の上には，学習用具だけをのせる。
- 5 1日の学習時間を決める。
- 6 何時から始めるのか決める。
- 7 何をどのくらい学習するのか，2週間程度の見通しを立てる。(中学年～)
- 8 学習のめあてを立てる。
- 9 毎日，続ける。

家庭学習をする際のやくそくをまとめました。塾や習い事などで忙しく過ごしている児童もいるかと思いますが，短い時間でも必ず机に向かうようにしましょう。基本的な生活習慣や家庭学習の習慣は，できるだけ早い時期から身に付けさせたいと考えています。保護者の方は，子どもが学習したことに，できるだけ目を通し，声をかけ，認め，励ましてください。家庭と学校が手を携え，意欲ある子どもを育てていきましょう。